

CO2削減の取組み

環境基本方針

株式会社エヌ・テックは、脱炭素社会・循環型社会を目指す社会的責任を理解し、地球環境に配慮した生産工程を構築することにより、持続可能な社会の実現を目指します。

代表者ご挨拶

弊社は、再生可能エネルギーの利用、生産設備の最適化等により、カーボンニュートラルを目指す活動を積極的に行って参ります。

株式会社エヌ・テックのカーボンニュートラル宣言

弊社は、CO2排出量を2030年に2023年度比で42.0%削減し、2050年までにカーボンニュートラルを目指します。

現状

Scope1 (直接排出)

対象	CO2排出量 (t-CO2/年)
軽油	15.05
ガソリン	7.97
炭酸ガス	6.00
灯油	2.63
アセチレン	0.58
合計	32.23

Scope2 (間接排出)

対象	CO2排出量 (t-CO2/年)
電気	35.45
合計	35.45

Scope1, 2の排出量合計

67.68 t-CO2/年

Scope1 : 自社での燃料使用や工業プロセスによる直接排出

Scope2 : 自社が購入した電気・熱の使用に伴う間接排出

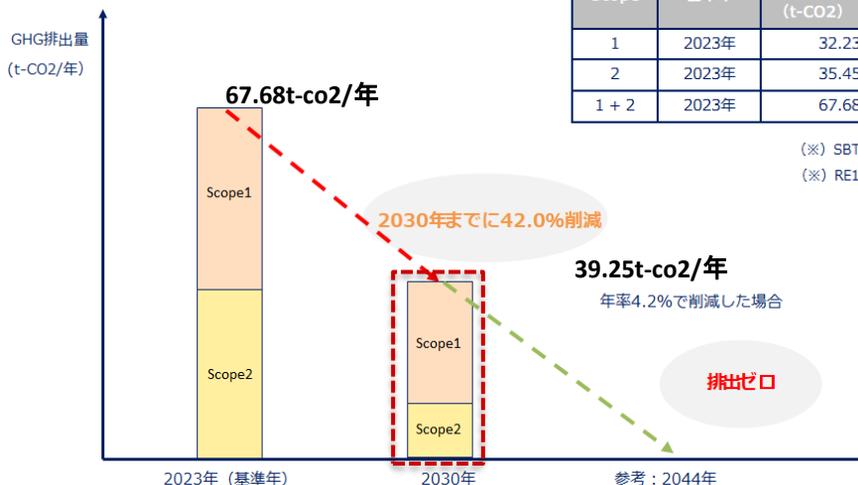
※特記事項

Scope2の算定において、国内工場や関連施設の電力排出係数は各契約会社が公表している調整後排出係数(残差)を採用し算定。

2023年度実績

弊社の排出量調査は(株)ウェストボックスの監修を受けた十六銀行によるもので、GHGプロコルの基準を満たしたものであります。

削減目標



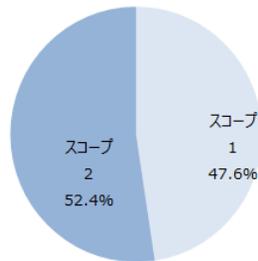
(※) SBT,再エネ100%を両方組み入れた場合の経路案

(※) RE100達成にはScope2を2030年までに60%削減

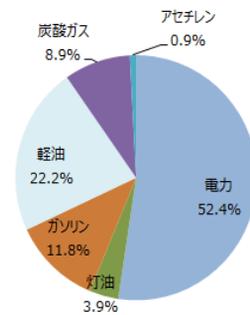
排出原因

Scope1, 2の割合グラフ

総排出量 67.68t-CO2 /年



エネルギー別の割合グラフ



各Scopeにおいて割合が高いもの (=削減しやすいもの)

【Scope1】

対象	用途
軽油、ガソリン	作業用車両
炭酸ガス	溶接

燃料転換、燃料の削減

【Scope2】

対象	用途
電気	本社における電気の使用
電気	工場における電気の使用

省エネ、再エネ化

今後の取組み

■再生可能エネルギー・省エネルギー活動

弊社では、再生可能エネルギーの利用促進を進めるとともに、日々の省エネ活動にも取り組んでまいります。

- 工場照明のLED化
- 太陽光発電システムの導入により、使用電力をすべて再生可能エネルギー化とすることを目指す。
- 溶接ロボット導入により、ガウジングカーボンの使用を大幅に削減する。
- 暖房を電気化し、化石燃料の使用を削減する。

再生可能エネルギーへの切り替えを図るとともに、日々の改善活動を実施し、生産設備、原動力の徹底した省エネ・節電活動を推進しております。

SBTイニシアチブの認定取得

株式会社エヌ・テックは、今年度新たに設定した二酸化炭素排出削減目標に関して、SBT (Science Based Targets)イニシアチブより科学的な根拠がある水準として認められ、中小企業版として承認されました。

CO2排出量削減目標

Scope1とScope2のGHG排出量を2023年の基準年から2030年までに42.0%削減し、将来的にはScope3の排出量を測定して削減する。



SBTi (Science Based Targets initiative)とは

SBTiは、CDP、WRI、WWF、UNGCによって2015年に設立された国際的なイニシアチブで、パリ協定※が求める水準と整合した温室効果ガス削減目標に対して、科学的根拠に基づいているかの検証を行い、認定を付与しています。

※ 世界の気温上昇を産業革命前より2℃を十分に下回る水準に抑え、また1.5℃に抑えることを目標とする。